



# 松山市議 吉富健一の政務活動報告 よしとみマン通信

第9号  
2013.11月号  
発行) 松山市議  
吉富健一

**アート、万歳!!**

ことばの文化の豊かな水脈から多様な表現が湧き上がる「文化創造のまち」松山!

## まち全体がアートになる、アートの祭典を松山で!!

平成 25 年 10 月 10 日、「道後オンセナート 2014」のキックオフ・シンポジウム「うぶ湯 SYMPOSIUM」が子規記念博物館で開催され、参加するアーティストの皆さんや主催者がオンセナートに望む意気込みを熱く語り合いました。



最古にして、最先端「道後オンセナート 2014」。これは、道後温泉本館改築 120 周年を記念して行われるアートの祭典です。平成 25 年 12 月にプレオープン。そして、26 年 4 月にグランドオープンし、同年 12 月まで開催の予定。

主会場となる道後温泉本館は照明や映像で演出し、商店街は作品を 10 力所程度配置してアートの遊歩道へ。また、格調高い各旅館の 1 室をアートでおもてなししたり、夜景を影絵で演出したりと、おもしろい企画がいっぱい。道後の歴史や文化を伝えるさまざまな観光資源を結び、回遊しながら楽しめる観光地づくりをめざします。

「皆が文化・芸術を楽しめる環境づくり」は公約の一つ。よしとみはアーティストやギャラリーの方々との意見交換を重ね、文化芸術に関する先進地視察を進めています。

平成 23 年秋には群馬県で「中之条ビエンナーレ」を視察。この「2 年に 1 度のアートの祭典」では、中之条町に国内外から多くのアーティストが集い、木造校舎や商店街の廃屋などを活用して町全体を美術館に変えてしまいます。住民にとっては町の再発見になります。よしとみも実際に各展示場を回りましたが、とにかく歩く。歩くことで町を知り、人と巡り合うことができます。

視察を踏まえ、アートの祭典であるビエンナーレ開催について、松山市平成 24 年 9 月議会で一般質問。



**「本市でも商店街や廃屋を活用して、また、松山の豊かな自然の中でビエンナーレを開催してはどうか。」**

**「不思議なアートのまちはにぎわい創造も期待できる。」**

さらに平成 25 年 3 月議会では、思うままの表現であるアール・ブリュットの普及について一般質問。

**「古民家や蔵を改修して、作品の魅力を発信するアール・ブリュット美術館。」**

**「既存の市施設の活用も視野に、開設してはどうか。」**

まち全体がアートになる、アートの祭典＝オンセナート。よしとみはとっても楽しみです(^)



身近なコからコツコツと...

皆様の「声」で、地域の課題がまた一つ解決しました(^)

# 【はなみずき通り】の横断歩道 5 か所を整備!!

通称【はなみずき通り】こと千舟町古川線は比較的新しい市道ですが、交通量が多い反面、信号機や横断歩道は少なく適切な安全対策が必要だと感じています。

よしとみは【はなみずき通り】約 1km 区間の横断歩道整備に取り組み、新設 1 か所、修繕 4 か所の計 5 か所の整備がこのほど完了しました。



最初にいただいた具体的なご相談は平成 22 年の 6 月。

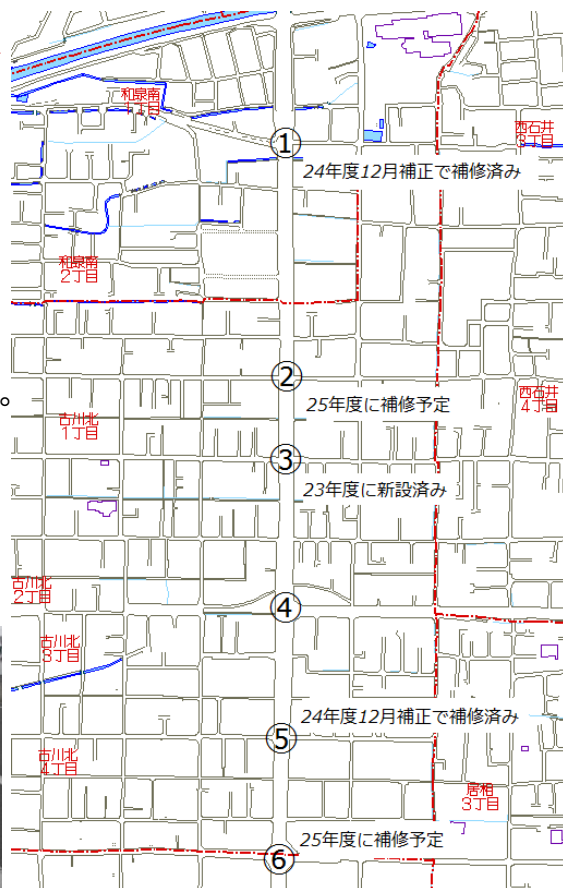
「【古川北 2 丁目バス停】付近は横断歩道がなく、通りを横切る人が多くて大変に危険。」

早速、ご相談者に立ち会っていただき現地取材しましたが、横断歩道の管轄は県警です。そこで、よしとみは、愛媛県議会議員に対応を要請。対策の進み具合を確認しつつ、粘り強く対応を求め、平成 24 年 3 月にようやく横断歩道が新設されました。

その後も、「横断歩道は全般的に白線が消えかけていて分かりにくい。安全意識を図るために修繕をお願いしたい」といったご要望がありました。

市道でもあるため市道路管理課にも相談しましたが、市での対応は困難な様子。横断歩道では、手を挙げても何台か車をやり過ぎないと横断できないことがあります。また、青信号で渡っていても、右左折の車が進入してくることもあります。歩行者の安全のためには横断歩道は明示されているべきです。そこで再び、県会議員と連絡を取って対応を要請。

予算の都合もあり、整備は 24 年度、25 年度に分けて進められましたが、このほど、4 か所の修繕が完了しました。



吉富健一  
連絡先

吉富健一  
HP & ブログ

よしとみマン日記 検索 <http://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>

ひとことメッセージ

今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。  
吉富健一(本人)    口協力者 (    )

